



EEC

EASTERN ECONOMIC CORRIDOR
THE PRIME GATEWAY TO ASIA

Exploring Thailand エクスプローリング・タイランド



EEC

東部経済回廊

アジアへのプライムゲートウェイ

EXCEPTIONAL LOCATION
優れたロケーション

EXCLUSIVE OPPORTUNITY
エクスクルシブな機会

COMPREHENSIVE DEVELOPMENT
総合的な開発

タイ 前途有望な地域への 理想的な ルート

タイは、世界人口の半数以上を有するアジアの中心に位置し、世界でもっとも繁栄している地域の一つであるアジアへの最重要ゲートウェイとして知られています。人口の増加のみならず、卓越したスピードで経済発展を遂げ、この大陸を現代における経済的パワーハウスとならしめました。

日本

👤 126,854,745

中国

👤 1,420,062,022

インド

👤 1,368,737,513

タイ

👤 69,306,160

インドネシア

👤 269,536,482

タイとアジアの
総人口

👤 4,584,807,072

世界人口の59%
(2018年)

タイランド 4.0



1960年代

農業及び手工業関連事業によって発展



1970年代

軽機械を活用し、生産性が増加



1990年代

精力的な工業製品輸出で世界基準に到達



2000年代

イノベーションの進展により時代の最先端へ

総合的な環境を創造する 完璧な戦略的ロケーション

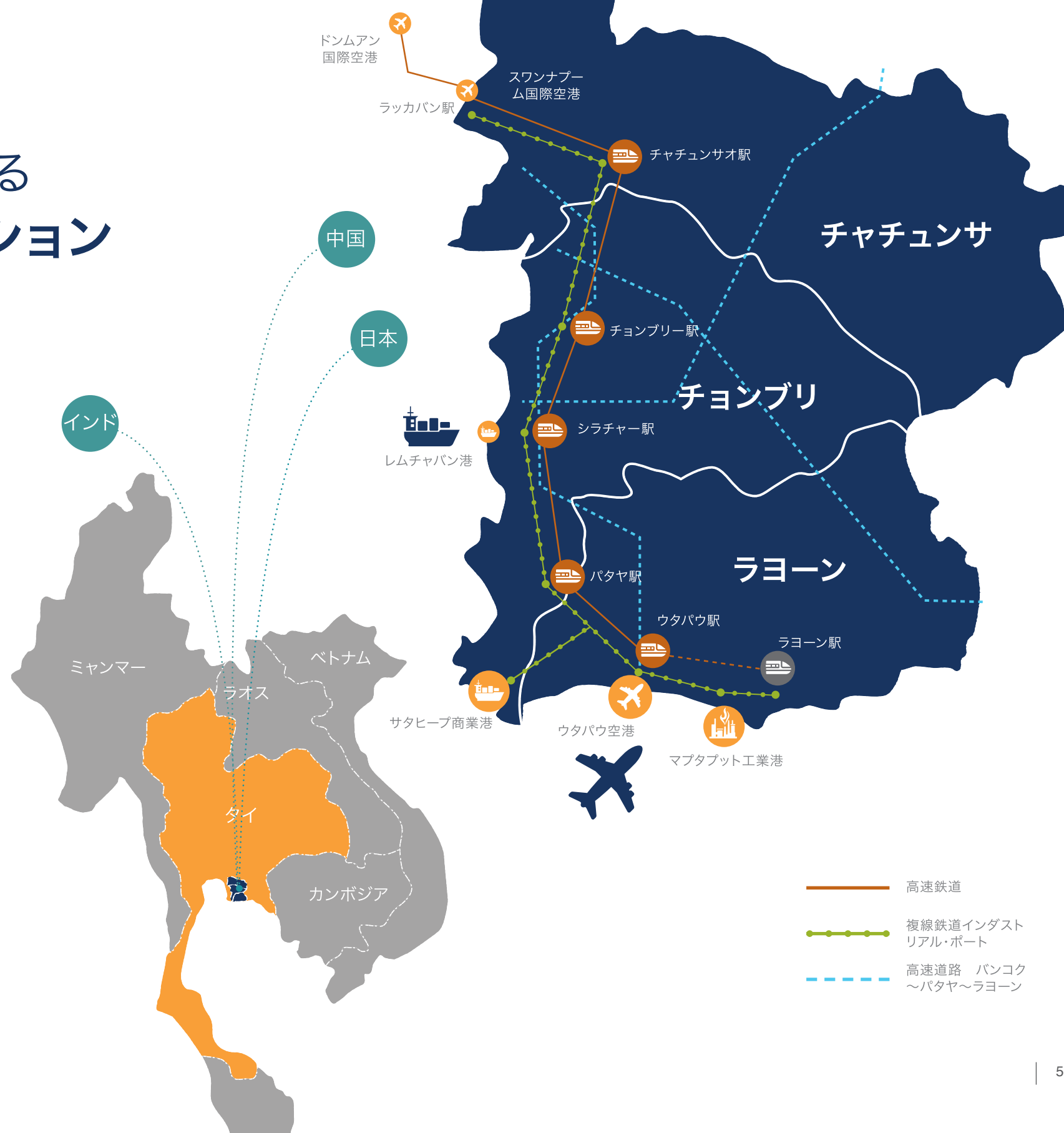
魅力的な実績

東部経済回廊 (EEC) は、30年に渡り、数多くの事業開発者が価値ある投資と並々な成果を上げたことで有名な「イースタンシーボード」を復活させることを目的としたエリアベース開発構想です。EEC計画は最初に、タイ東部のラヨーン、チョンブリー及びチャチュンサオの3県にフォーカスしました。EEC開発計画により、国の競争力が向上し、社会的・物質的な発展において素晴らしい変化がもたらされることが予想されています。

有望な将来

EEC総合開発計画は、明確な規定とガバナンス構造で、適切に策定されています。

近い将来、EECが東南アジア及びアジア太平洋両方のプライムゲートウェイとなるために、統合インフラの整備が進められています。



投資価値を加速させる 総合的なインフラ基盤



3つの空港を繋ぐ高速鉄道

→ 1時間以内に

運行予定年： 2023年

高速鉄道は、時速250kmの速さで3大国際空港であるバンコクのドンムアン空港・スワンナプーム空港・ウタパウ空港の間をより速く快適に繋がります。この交通システムは、マッカサン駅とシラチャー駅における公共交通指向型都市開発(TOD)と共に、9ヶ所の高速鉄道駅(ドンムアン、バンスー、マッカサン、スワンナプーム、チャチュンサオ、チョンブリー、シラチャー、パタヤ及びウタパウ)により実現します。



ウタパウ国際空港

→ 年間乗客数6,000万人へ

運行予定年： 2023年

ウタパウ国際空港は、未開発地域への敷地拡大を伴って、第二滑走路・ワールドクラスのターミナル3・商業ゲートウェイ・航空貨物ターミナル・航空機整備センター(MRO)・フリートレードゾーン(FTZ)・航空研修センター(Aviation Training Center)を有した空港へと生まれ変わります。このアップグレードにより、ウタパウ国際空港は、バンコクにおける第3の国際空港としてのサービスを提供し、また、EECとアジアの主要な都市との間のハブ空港として、その役割を担います。



都市間を結ぶ高速道路

→ EECの重要地点をつなぐ最新ネットワーク

運行予定年： 2019年

高速道路7号線等を延長することで、移動時間を短縮するだけでなく、これらの都市間を結ぶ高速道路網により、様々な未開発地域へのアクセスが可能となり、EEC域内の未開発地域への投資を促します。



複線鉄道

→ EEC域内の鉄道交通の増設

運行予定年： 2023年

新設の複線鉄道は、レムチャバン港、マプタプット工業港、全国の工業地区及びインランドコンテナデポといった重要な工業地区及び物流センターを繋ぐ予定です。これにより、時間に正確で費用対効果の高いデリバリーを実現します。



レムチャバン港 第3フェーズ

→ 年間1,800万TEUへ

運行予定年： 2025年

チョンブリー県にあるレムチャバン港は、最先端サービス及び自動システムを導入することにより、世界で最も優れた港湾の一つになります。2023年より着工予定で、初期貨物取扱量は年間400万ETUを予定しています。



マプタプット工業港 第3フェーズ

→ ガス・液体貨物運送量 年間3,100万トンへ

運行予定年： 2025年

ラヨーン県のマプタプット工業団地での開発第3フェーズは、天然ガス・液体材料エリア、及び、発電所・倉庫関連産業開発エリアの二つのターミナルで構成されています。液化天然ガス(LNG)ターミナルのキャパシティーは年間約2,000万トン、液体材料ターミナルのキャパシティーは年間約1,100万トンを予定しています。

これらのインフラ整備により、ビジネスが加速します。

- ・ 運送・移動時間の短縮
- ・ 連携・連結の利便性の向上
- ・ 物流コストの削減
- ・ より大きな取引量の実現

様々な業種に対応する 数多くのスキルフルな労働力

EECには、お客様のビジネスを支える240万人以上の意欲的な熟練労働者がいます。既に30年以上も前から、数多くの多国籍企業(MNCs)が、この素晴らしい場所で、現地労働者の力強さとホスピタリティに触れています。

EEC 業種別予測人員と人材育成

ハイバリューツーリズム及び メディカルツーリズム

合計: 16,920人
専門学校: 15,179人
大学: 1,741人

オートメーション及びロボテ

合計: 37,526人
専門学校: 21,885人
大学: 14,277人
大学院修士又はそれ以上: 1,364人

デジタル関連

合計: 116,222人
専門学校: 49,156人
大学: 67,066人

スマートエレクトロニクス

合計: 58,228人
専門学校: 23,500人
大学: 29,028人
大学院修士又は博士: 5,700人

医療及び総合的ヘルスケア

合計: 11,472人
専門学校: 5,080人
大学: 5,362人
大学院修士又はそれ以上: 1,030人

海事関連

合計: 14,630人
専門学校: 3,580人
大学: 11,050人

次世代自動車

合計: 53,738人
専門学校: 44,492人
大学: 9,155人
大学院修士又はそれ以上: 91人

鉄道運行システム

合計: 24,246人
専門学校: 20,589人
大学: 3,230人
大学院修士又は博士: 427人

物流

合計: 109,910人
専門学校: 65,940人
大学: 43,970人

航空関連

合計: 32,841人
専門学校: 3,718人
大学: 29,123人

昨今の競争の激しいグローバルマーケットにおいてビジネスを成長させるためには、優秀な労働者の確保がカギとなってきます。EECでは、様々な国際的学術機関(例: 国立台湾大学、カーネギーメロン大学、スイスのレ・ロッシュインスティテュートなど)と提携し、潜在能力のある従業員を貴重な人材に育て上げるための優れた教育カリキュラムを提供しています。そのため、EEC人材の能力は国際基準に十分に対応しています。



より良い暮らしと輝かしい ライフスタイルを提供する スマートシティ構想

EECでは、イノベーションの奨励やインダストリアル4.0の推進とは別に、そこに住む人達にとって環境にやさしい地域であることを重要視しています。EECは、質の高い教育サービス、医療サービス、インターネット環境及びその他の最先端インフラを目指しています。EEC域内においてデザインされている現代的なスマートシティ構想は、あらゆる面から生活を支え、調和のとれたスマートリビングな環境を提供します。



全ての投資家に捧げる

エクスクルシブな機会

EECの他に類を見ない特色により、全ての投資家に対して、素晴らしい投資機会を提供します。EECは、全てのお客様のビジネスを輝かしい成功へと導くため、5カ所の特定産業投資奨励ゾーン、及び、21カ所のターゲット産業投資奨励ゾーンを設置しました。12のターゲット産業への投資は、追加特典を受けることもできます。EEC開発スキームは、ウィンウィンの関係の下、現存するビジネス基盤を一層強化し、サステナブルなビジネス成長に貢献します。

12のターゲット産業

先端技術とイノベーションの促進



次世代自動車

ここ数十年の間、タイはアジアにおける自動車製造の牽引国として認知されています。EECは、この既存の能力を活かすべく、エネルギー効率及び電気自動車(EV)を重視しています。



スマートエレクトロニクス

電子部品の輸出は、タイ経済におけるもう一つの重要な柱となっています。この国の能力をベースに、技術統合、複雑な集積回路産業及び電子関連産業は、その勢いを増々強めています。



先進農業及びバイオ技術

タイの揺るぎない農業基盤を背景に、EECでは、農業生産力を一層引き上げるべく、先進農業技術やバイオ技術の融合を強く推進するスタンスを採っています。



航空関連及びロジスティクス

将来的に、空の交通は、アジアを軸として成長するでしょう。産業の専門的技術と理想的な地理的条件を併せ持つタイは、航空関連ビジネスにおける成功を加速することを可能にします。EECは、ウタパウ空港でのMROと航空宇宙産業(Tier 2から4)の発展に注力しています。



医療及び総合的ヘルスケア

タイは、既にメディカルツーリズムにおける強い基盤を持ち、今後の総合的ヘルスケアと医学産業の発展と共に、最高級の「メディカル・ハブ」となる可能性を秘めています。



バイオ燃料及びバイオ化学

タイは、エタノール製造、サトウキビ、そしてパーム油産業におけるメジャープレイヤーです。今後、このことは、将来的な化学産業、第三世代バイオ燃料技術の研究開発、そして新たなバイオ化学製品の創設に繋がっていくことが予想されます。



将来のための食品

タイは世界の台所として広く認知されています。タイではこの優位な立場をより確固としたものにすべく、生物工学的応用を取り入れて、より高い食品安全基準、より良い食物原材料、菜食主義といった需要に応えています。



ハイバリューツーリズム及びメディカルツーリズム

タイは、東南アジアにおいて最も人気のある旅行先として選ばれており、メディカルツーリズムの先駆者としての地位も築いています。エコツーリズムやメディカルツーリズム&ウェルネスツーリズム、そして、ビジネスレジャーツーリズムは、EEC域内においても奨励されています。



オートメーション及びロボティクス

より優れたビジネスソリューションを国内外の企業に提供するため、タイでは自動車産業及びエレクトロニクス産業を活用し、ロボティクス生産及び自動化を推進しています。



デジタル関連

e-コマース、IoT、デジタルコンテンツ、そしてクラウドコンピューティングなど、様々な分野におけるデジタル産業に投資する機会が非常に多くあります。我々が積極的に取り組んでいるプロジェクトであるEECスマートシティやデジタルパークの開発は、確実な成果を上げながら、順調に進んでいます。



防衛

この新しくターゲット産業となった防衛産業は、軍事機器や軍事車両の研究開発と製造、及びMRO事業に注力し、タイの軍事活動の効率性の向上と国内軍事力の強化を目的としています。



教育及び人材開発

EECは、専門学校、大学及び民間企業を含む国内外の教育機関と提携し、将来のニーズや国際基準に沿った教育カリキュラムの開発を推進しています。

特定産業 投資奨励ゾーン

特定産業につき、これらの投資奨励ゾーン内において投資する場合、
税制優遇措置やその他の恩典を受けることができます。



EECh、高速鉄道リボンスプ ロール

場所：ドンムアン空港、スワンナプーム空港及び
ウタパウ空港を繋ぐ高速鉄道線路沿い
距離：220キロメートル

EEChは、高速鉄道線路沿い及び公共交通指向型開
発地域（TOD）であるマッカサン駅（約140ライ
＝22.4ヘクタール）とシラチャー駅（25ライ＝4ヘク
タール）からなります。

EECd、デジタルパーク

場所：チョンブリー県シラチャー地区
面積：708ライ（113.28ヘクタール）

EECdは将来的に、デジタル事業の世界的プレーヤーや
イノベーターがオリジナルのデジタル技術
を研究・開発・取得し、ビジネスを成長させるための
拠点となります。最新のハイテク機器を揃えた
ワールドクラスのデータセンターやデジタル
イノベーションテストベッド、そしてIoT研究所が
集まります。



EECmd、メディカル・ハブ

場所：チョンブリー県バンラムン地区
面積：566ライ

EECmdは、総合的医療サービスやヘルスケアを提供
するタイ初のメディカル・ハブとなります。EECmdは、
タイにおけるヘルスケアサービスの質を向上させる
とともに、国の高齢化に備えることを目的としています。

EECi、イノベーション・ プラットフォーム

場所：ラヨーン県ワンチャンヴァレー地区
面積：3,000ライ（480ヘクタール）

EECiは、イノベーションを促進し、将来のビジネス
ニーズに応える最新技術へとアップグレードするための
新しいエコシステムです。完全な「イノベーション・エコ
システム」は、技術的・革新的な研究を企業における
実用化へと形を変えて行きます。

EECa、東部空港都市

場所：ラヨーン県ウタパウ国際空港
面積：6,500ライ（1,040ヘクタール）

EECaは、ウタパウ国際空港における商業ゲートウェイ、貨物
ターミナル、航空研修センター、航空機整備センター、自由貿易
ゾーンなどのサービスや設備を揃えることで、ビジネス運営
をサポートし、ワールドクラスのサービスを提供します。

ターゲット産業 投資奨励ゾーン

EEC には、21ヶ所の工業団地が12のターゲット産業のための場所として指定されています。投資家は税制優遇措置やその他の恩典を受けることができます。

ターゲット産業のための工業団地一覧

- ① WHAラヨーン工業団地
- ② イースタンシーボード工業団地 (ラヨーン)
- ③ WHA イースタン工業団地 (マブタブット)
- ④ WHAイースタンシーボード第1工業団地
- ⑤ WHAチョンブリー第1工業団地
- ⑥ WHAチョンブリー第2工業団地
- ⑦ WHAイースタン・シーボード第2工業団地
- ⑧ WHAイースタン・シーボード第3工業団地
- ⑨ WHAイースタン・シーボード第4工業団地
- ⑩ CP (ラヨーン)
- ⑪ アマタナコーン工業団地
- ⑫ アマタナコーン工業団地 (第2プロジェクト)
- ⑬ アマタシティ
- ⑭ ピントン
- ⑮ ピントン工業団地 (レムチャバン)
- ⑯ ピントン工業団地 (第3プロジェクト)
- ⑰ ピントン工業団地 (第4プロジェクト)
- ⑱ ピントン工業団地 (第5プロジェクト)
- ⑲ TFD (第2プロジェクト)
- ⑳ ヤマト工業
- ㉑ スマートパーク



広範囲にわたる 優遇税制（タックス・インセンティブ）

投資に大きな恩恵を

EEC法（東部特別開発地区法）は、EEC域内への投資に対し、最高の優遇税制パッケージを用意しています。

A1：国の競争力強化に繋がる研究開発やデザインに注力したナレッジ型事業

A2：国の発展のためのインフラ事業、タイではまだ投資されていない(もしくは、ほとんどない)、先端技術を活用して付加価値を高める事業

A3：タイではまだほとんど投資されていない、国の発展に重要な高度技術事業

セクション8：バイオテクノロジー、ナノテクノロジー、新素材テクノロジー、デジタルテクノロジーといった対象となるコア技術の開発などの技術革新の開発事業

EEC域内のゾーン	税制優遇措置	所定の場所におけるターゲット事業				EEC域内の適格事業	
		セクション8	A1	A2	A3	セクション8	A1～A3
特定産業投資奨励ゾーン	法人税免税	10 + 3年 (上限なし)	8 + 4年 (上限なし)	8 + 4年	5 + 2年	10 + 1年 (上限なし)	通常の免税 (5～8年)
	50%法人税減税				5年		3年
ターゲット産業投資奨励ゾーン	法人税免税	10 + 2年 (上限なし)	8年 (上限なし)	8年	5年	10 + 1年 (上限なし)	通常の免税 (5～8年)
	50%法人税減税		5年	5年	5年		3年

	税制優遇措置	EEC域内の適格事業			
		セクション8	A1	A2	A3
EEC域内のその他の工業団地及び工業地区	法人税免税	10 + 1年 (no cap)	8年 (no cap)	8年	5年
	50%法人税減税		3年	3年	3年

出典：タイ国投資委員会（BOI）



追加の恩典

税制優遇措置に加えて、EEC域内にて勤務する
予定の投資家や外国人プロフェッショナルは、次の
ような恩典を受けることができます。

個人所得税

- ・投資奨励ゾーン内の外国人スタッフは、17%の個人所得税の対象となります。この優遇措置はスタッフの両親、配偶者、子供にも適用されます。
- ・EEC域内の本社もしくは国際貿易会社に勤務する外国人エグゼクティブは、15%の個人所得税の対象となります。

輸入関税

- ・機械にかかる輸入関税が免除されます。
- ・生産及び研究開発のための原材料にかかる輸入関税が免除されます。

金融取引

- ・事業者は、外国為替管理法が免除され、投資奨励ゾーン内において外国通貨を使用することができます。

土地及びその他の不動産所有権

- ・外国事業体は、事業のための土地及びその他の不動産を所有することができます。
- ・外国事業体は、居住目的で不動産を所有することができます。
- ・外国事業体は、投資奨励ゾーン内における土地またはその他の不動産につき、50年まで（更新については承認を得た上で49年まで）の賃貸借契約・サブリース契約をすることができます。

タイへの移住

- ・外国人エキスパート・エグゼクティブ・スペシャリスト（配偶者や被扶養者を含む）は、移民法で定められた滞在可能期間を超えた所定の期間、タイ王国に入学し居住することができます。

特別な税控除

- ・テクノロジーやイノベーションに関する研究開発については、研究開発費用の3倍の額の税額控除が認められます。
- ・タイにとって新しい、もしくは、製造過程において高度の技術を用いるターゲット産業については、競争力強化法に従って、インセンティブが与えられます。

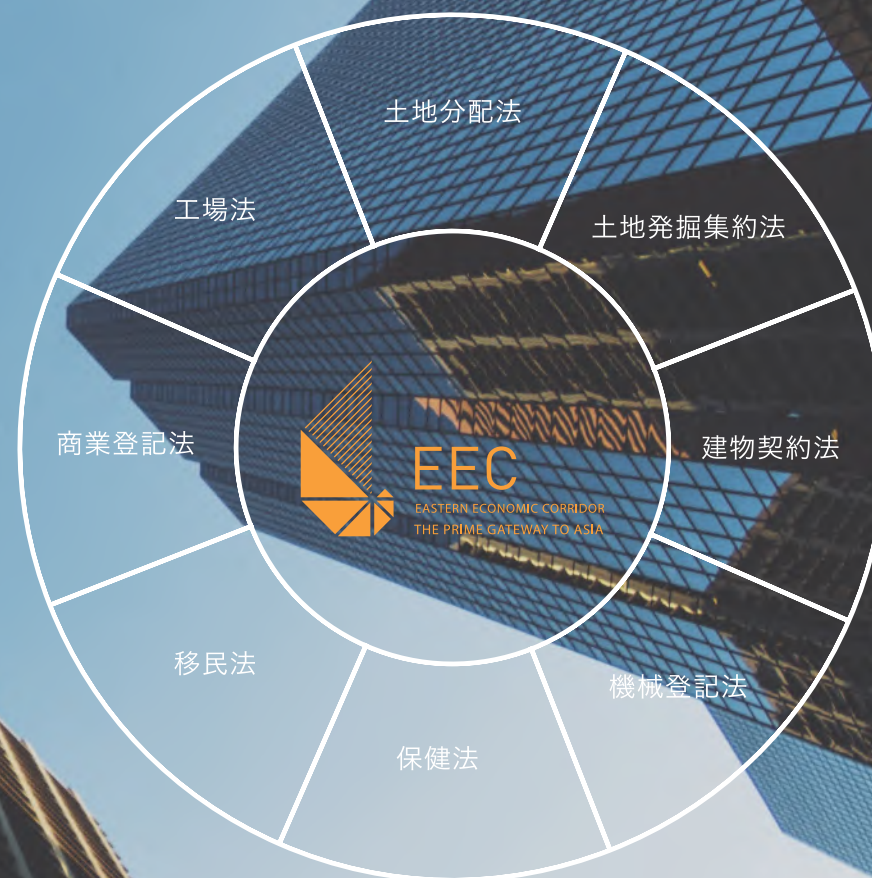
その他の恩典

- ・投資奨励ゾーン内の事業者は、デューティーフリーゾーン・保税倉庫・フリーゾーンにいる事業者と同様の恩典を受けることができます。
- ・プロフェッショナルは、投資奨励ゾーン内において、事業運営をする上で専門知識・技術を使用するための資格、登録または認定を取得することができます。

EEC-OSS

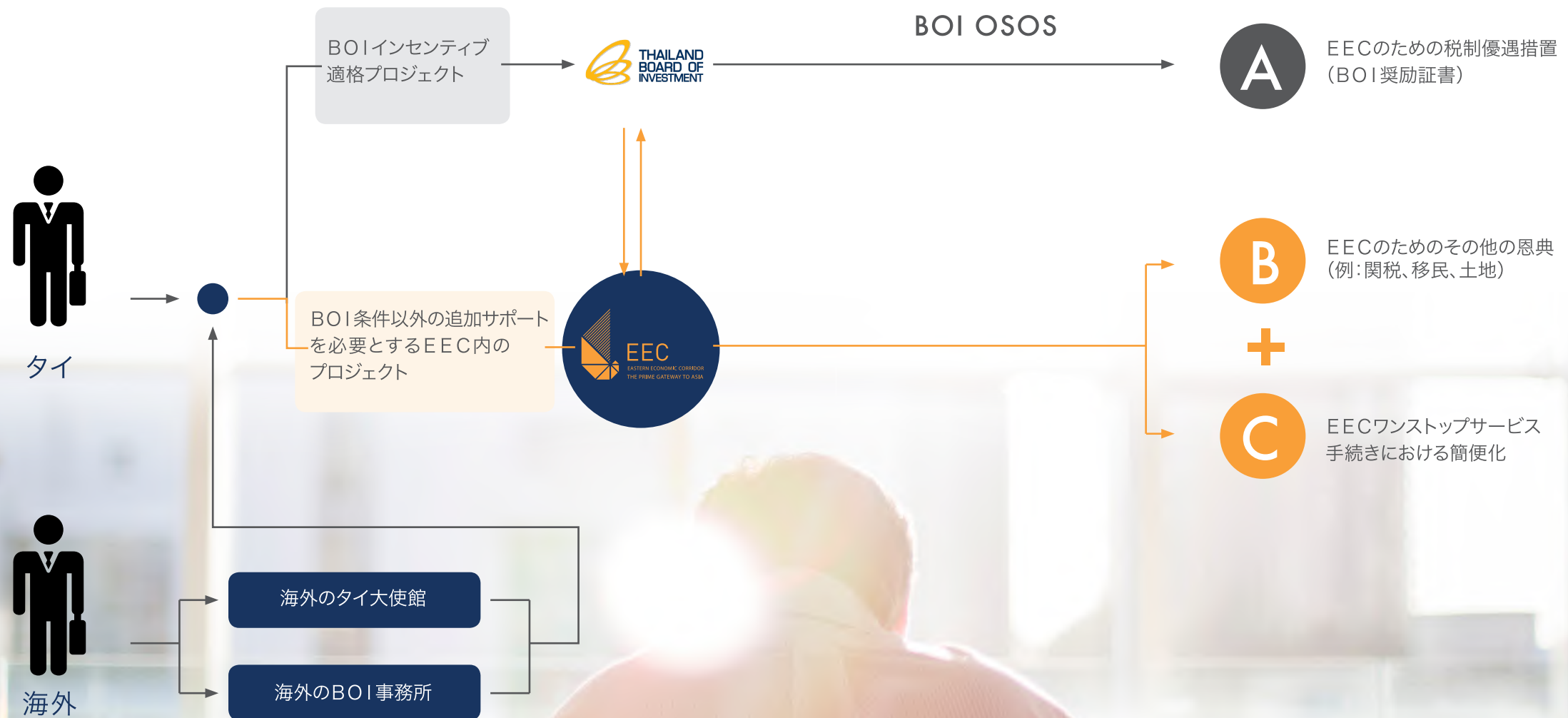
誠実にあなたをサポートする
信頼できるタイのパートナー

EEC法(東部特別開発地区法)に従い、EECワンストップサービスは、8つの関連法令のもと承認、許可、権限や免許の授与をするために、関連政府機関と同様の権限を持っています。



成功への道のり

インベストメント・ジャーニー



EECの連絡先

私達がお客様のエントリーをサポートします

EECの専門チームがお客様の投資を成功に導きます。私共のチームは、お客様に寄り添い、アドバイス致します。

EECOとは？

タイ東部経済回廊オフィス(EECO)は、次世代のためのイノベーションと先端技術をタイにもたらすことを目的とした公的なエージェンシーです。私たちは、プロジェクト期間全体を通じて価値を高め、また、プロジェクトの成功を確実なものにするため、他の公的機関や民間部門と親密に、かつ、積極的に提携して、お客様をサポート致します。

お問い合わせ

何かご不明な点がございましたら、お気軽にご相談ください。

東部経済回廊オフィス

バンコク都バンラック区チャルンクルン通りソイ・ワット・モンケー72
CATタワー25階 10500

電話番号: +66-2033-8000

Eメール: info@eeco.or.th

詳細な情報は、下記のQRコードを読み取り下さい





東部経済回廊オフィス

📍 バンコク都バンラック区チャルンクルン通りソイ・ワット
・モンケー72 CATタワー25階 10500

☎ +66 2033 8000

✉ info@eeco.or.th

🌐 www.eeco.or.th